

第6期 小金井市地域自立支援協議会 部会活動報告

協議テーマ	1 不登校児童・生徒への支援体制について 2 医療的ケア児の支援体制について 3 その他、(都の自立支援協議会交流会の感想など)
開催回・開催日	9月27日(金) 午後5時30分から
記録担当委員名	生涯発達支援部会 佐藤宮子
<p>【協議概要】</p> <p>1、不登校児童・生徒への支援体制について</p> <p>①学校の体制によって、不登校児の数が減るなどの現状も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●課題のある子でなく、面白い子というような視点で接すると、よいのではないかな？ ●ゆっくり話す・視覚刺激になれている子が多いので、黒板に必ず写真を貼るなどの工夫でも、変化がみられる。 ●心を一つに同じことをするというのではなく、いろいろな大人に出会うような機会をつくるというように捉える。 ●先生の困り感に対する対応も難しい。 <p>②個別支援会議は、どうしてもネガティブなイメージになりがちで、課題と成果を求めると、人間関係が崩れる。</p> <p>③以前の(2年間の期限付き)訪問支援員は有効だと思うが、現状は仕組みがない。</p> <p>2、医療的ケア児の支援体制について</p> <p>①医療的ケア児は、表面に現れていないが、潜在的には居るはず。</p> <p>②前回の部会で出た学習会について、具体的な案を話し合った。</p> <p>(1月の専門部会を1時間程度前倒しして、行政・専門医などの情報をシェアするような学習会をしてみてもどうか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講師について、専門家、当事者の家族、事業所の方など、いくつか挙がった。 <p>専門家の話は、専門部会の延長のような形ではなく、もう少し独立した形で行う方がよいので、3月はどうか</p> <p>→1月は、医療的ケアの事業所(もあ)の方と、利用当事者の方にお問い合わせできるか打診する。(担当:小幡)</p> <p>③医療的ケア児の就学については、付き添いについての認識が課題。</p> <p>保護者が付き添うのが当然という考え方については問題がある。</p> <p>医療チーム体制があれば、クリアできる。</p> <p>3 都自立支援協議会の交流会(9月2日)に参加しての感想</p>	

●都 交流会でのテーマが、「当事者参加・当事者の意見は取り入れられているか」に関することだったので、市の自立支援協議会に、もう少し当事者からの視点を取り込める体制づくりが必要ではないかと感じた。との報告があった。

【課題となった事項の整理】【課題解決に向けて】（協議概要での記載と重複する点あり）

- 1 引き続き検討する。
- 2 学習会を開催する

【次回の協議内容予定】

1 月の学習会の内容詰め等

【次回の開催日程】

10 月 15 日（火）